

競技上の注意

1. 各種の追加・変更届

試合開始1時間前には指定の様式で各府県委員長を通して本部に提出し、承認を得ること。

2. 進行は、進行表のとおりとするが、競技の進行状況等により変更をすることもあるので、本部からの放送には十分に注意すること。

3. 競技について

(1) ベンチサイドは、番号・記号の小さい方のチームが審判台から見て左側とする。

(2) マッチ開始前の練習は、1分以内とする。

(3) 団体戦について

(ア) オーダー提出

・すべての1回戦は、8:50までに、2回戦からは対戦相手が決まってから10分以内に提出する。

※「対戦相手が決まる」とは、本部に採点表が届き、試合結果を本部で確認できたときとする。

・3枚複写のものを作成（複写）し、1枚を本部に提出、1枚を挨拶時にコートで交換、1枚は自分で保管する。

(エ) サービス（レシーブ）とサイドの決定は、あいさつ後にまとめて行う。

(カ) 当日どちらかのチームの初戦（1・2回戦）は、3組すべての対戦を行う。

以後は、2点先取とする。（※2ペアで団体戦に参加する場合の第3対戦目には行わない）

(キ) チームの選手が応援をする場合は、ベンチ横に座って応援する。次の試合の選手がベンチ横から離れてコート後ろでウォーミングアップなどをすることは認める。このときラケット・ボールは使用せず、応援はしない。

(4) 団体戦・個人戦とも、試合前にコート付近に待機しておき、審判の指示で整列すること。

(5) 試合前の整列や団体戦の本部へのオーダー提出が遅れた場合は「遅延行為」とみなし、5分経過ごとに警告1回とし、団体戦は第一対戦ペアに累積する。

(6) 団体戦・個人戦とも、挨拶後の試合開始前の「円陣」は進行に支障をきたすので行わないこと。

(7) アンパイヤーに質問は、団体戦は監督またはプレーヤーが、個人戦はプレーヤーが行うことができる。

(8) 団体戦・個人戦とも、試合が連続する場合は、必要に応じて10分間程度のインターバルをとる。

(9) 団体戦・個人戦とも、試合が終了したら審判が採点表を進行本部に届ける。勝者チームまたはペアは勝者サインを行う。

5. マッチ中の助言（サイドコーチ）・身体上の手当について

(1) 監督（コーチ）がマッチ内に選手に 助言・身体上の手当 を行う場合は、サイドのチェンジ及びファイナルゲーム前のインターバルの1分以内とし、監督（コーチ）は所定のベンチで行うこと。

それ以外の者や時間・場所では禁止する ※ブロックサインを含む

(2) 5の（1）の際、45秒でアンパイヤーが「レッツプレー」のコールを行う。1分経過時、再度アンパイヤーが「レッツプレー」のコールを行うが、この1分経過の時点でプレーヤーが移動するそぶりがなければ警告の対象とする。

6. 監督（コーチ）について

(1) 団体戦を2面展開で行っている時、監督（コーチ）は、両コート間の中央に位置し、2面分のベンチ入りとすることができる。3面展開の場合は、真ん中のコートに位置し、2面展開に準じるものとする。

(2) 団体戦・個人戦とも、監督（コーチ）はベンチを移動して助言することができるが、一度離れたマッチのベンチに再び戻ることはできない。なお、選手はコートを離れて助言を聞くことはできない。（監督は隣のコートの選手に助言することはできない）

(3) 個人戦で2ペア以上が出場している場合、登録している監督（コーチ）は同一校内のどのペアの試合にもベンチ入りとすることができる。団体戦で男女チームともが出場している場合も同様とする。

※マッチ途中や団体戦のマッチごとでの交代はできない

7. 審判などについて

〈団体戦〉 試合をする両チームから1面につき1名ずつが、副審・カウンター係（副審サイドで行う）を担当する。※団体戦の登録メンバー(8名)から審判・係を出すこと。

また、得点版側のチームはスコアボード係を担当する。

〈個人戦〉 敗者ペアが、副審・カウンター係を担当する。第一試合は本部より依頼する。（進行表に記載）

8. かけ声・応援 について

(1) 以下のようなかけ声・応援などは禁止とする。選手・監督は警告の対象。応援団（保護者を含む）は注意の喚起（または退場）の対象となる。

(ア) 過度のかけ声・相手を不快にさせる発声・威圧的な発声や動作。プレー・マッチの進行・大会運営上などに支障があると判断される場合。

(イ) インプレー中の発声（マッチ中の選手を除く）。

(ウ) 応援団（保護者を含む）からの助言（次のプレーに関わる内容の指示・かけ声）。 ※ブロックサインを含む

(2) 音の出る道具を使用するの応援は禁止する。

9. 練習場所について

(1) ドーム内における、コート以外でのボールを使った練習は禁止する。

10. その他

(1) 競技中のフラッシュ撮影は禁止します。

(2) コート内でのビデオカメラ（映像）の撮影は禁止します。

(3) 大会の様子等の写真・動画などの、SNS（ソーシャルネットワーク）関連への無断掲載は、個人情報保護の観点から禁止とします。

(4) 応援生徒および学校関係者は、コート内での観戦・応援を認めます。ただし、座って観戦し、応援に関するルールをしっかりと守るようお願いします。保護者の方はコート内には入れません。

※インプレー中の発声禁止、次のプレーに関わる内容の指示・かけ声の禁止

(5) 個人ベスト4に残ったチームの監督は、来年度の近畿選手権説明がありますので、その連絡を受けてから帰るようにしてください。

(6) 医療については、応急処置のみ本部で行います。

☆各校、ソフトテニスのルールだけでなく、会場使用上の注意、各中学校での約束事、社会的なマナー等をしっかり守った上で、スポーツマンシップにのっとり、参加できるようにお願いします。